

むすんで ひらいて

第43号

発行日
令和元年9月

発行：福井市地区社協連絡協議会
〒910-0018 福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

◆福井市社協のホームページからバック
ナンバーをご覧ください

♡ オープンまでの流れ ♡

- H30秋 安居地区内の高齢者を対象に、困りごとについてのアンケート実施
- H31.1 アンケートの結果をもとに、民生委員や福祉委員、公民館主事が意見交換。「気軽に集まれる場・機会を増やす取り組みが安居地区でもできないか」との意見が出る
- H31.2 桜ヶ丘西自治会で行われている自由度の高いサロンをモデルに、地区社協の自主事業として実施しよう!!と決定
- R1.5 住民主導の「安居カフェ」開設
現在、安居地区内に5つのカフェがオープン。
自治会単位で、月1~2回のペースで開催しています。



夜の開催もあります。



高村さん

小林会長

安居地区社協（小林享会長）が中心となって立ち上げた、誰でも集えるサロン「安居カフェ」。はじめようと思ったきっかけや、オープンまでの流れを安居地区社協の高村さんにお聞きしました！

顔の見える関係をつくる

安居カフェ

はじめました

安居地区社協



はじめようと思ったきっかけは何ですか？

アンケートの回答に「話し相手があほしい」という意見もあり、各自自治会に集まれる場所を作れないかな、と思ったことがきっかけです。

準備をされていて大変だと思ったことはありますか？

これはありません。ただ、安居カフェがちゃんとした立ち上がるのが、人が集まるのか、という不安はありました。

安居カフェのねらいとは？

元気なうちに顔の見える関係を作ることで、将来、助けが必要になった時に相談できます。また、集まってくる人の中からボランティアとして活動してくれる人を見つけることもできますね。

よろず茶屋にしなかった理由は？

たかさんの人に集まってもらうために、よろず茶屋よりも、そこに自由に開催できる今の形を選びました。カフェの内容について教えてください。

健康体操は必ずやっていますが、あとは各カフェで



「ほおずき」の皆さん 話に花が咲きます

参加する皆さんの声

安居カフェ「ほおずき」(桜ヶ丘東自治会)

- 月2回参加するのがすごく楽しみ！
- 裁縫しながらおしゃべり、頭と指先を使ってポケ防止になるわ。
- 情報交換ができるのがいい。みんないろんなことを知っているのだから感心します。
- 他の人の作り物を見て、「自分も作りたい！」と刺激を受けるよ。
- 地区の人に、もっと「ほおずき」を知ってもらいたい！



みなさんの作品。どれもステキです。

自由にやり組んでいます。楽しく長く続けるためにはどうしたらよいか、今後考えていきたいです。

どのような人が参加していますか？

50〜80代の人が毎回40名ほど参加しています。開催場所によって、集まる世代もメンバーも違います。

課題はありますか？

男性の参加者が少ないことです。男性の安居カフェもできるといいなと思います。

今後の取り組みは？

開催場所を増やし、たくさんの方が参加し、交流できる場を設けたいです。年に1回くらいは5つのカフェ合同での安居カフェをやりたいですね。

福井市地区社協連絡協議会 総会



平成31年4月19日（金）、福井市民福祉会館小ホールで平成31年度の総会を開催しました。
 平成30年度事業報告・収支決算と、平成31年度事業計画・収支予算が承認されました。
 総会后、引き続き地区社協活動説明会があり、市社協の事業内容や、市社協一般会費の改定について説明がありました。
 「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められた新しい時代「令和」にふさわしく、誰もが暮らしやすい地域づくりのために、これからも市社協と力をあわせ、地域福祉活動に力をいれていきたいと思えます。

令和元年度 地区社協会長 名簿

(敬称略)

地区名	会長名	地区名	会長名	地区名	会長名
あたご	木田 川中 洋治	あすま	和田 西村 晟修	川	大安寺 田安 敏男
	豊 山田 耕一★		円山 竹内 英二		国見 刀禰 茂美
	足羽 川島 則勇★		岡啓 野路 義昭		鵜 清川 清治
	湊 高木 靖弘		岡保 吉村 義一		栗 堀 一夫
不死鳥	春山 近藤 輝彦		東藤 杉本 俊介		鷹巢 庄納 庄次郎
	宝永 松成 嘉實		西藤 中田 欽也		本郷 松並 久太夫
	順化 村田 眞枝		中藤 吉田 和雄★		宮ノ下 小西 安一
	松本 黒川 俊規		河合 北川 幸秀		酒生 村下 義博
	日之出 黒川 義爾		森田 中村 誠一		一乘 坂下 義厚
	旭 渡邊 清次		明新 高井 豊★		上文 殊中 川邦男
みなみ	日新 井上 清次		安居 小林 享一		文殊 村中 厚
	清安 藤内 清治		一光 竹田 法英		六条 寺横 紀廣
	社南 中谷 勝子		殿下 竹原 健一		東郷 北川 照男
	社北 関西 愛子		越 野村 藤孝		美山 家接
	社西 富廣 子		清水 河村 三智夫		
	麻生 今村 正和		清水 荒井 彦一		
			清水 平 簡 茂 雄		

★は令和元年度新任の会長

地域福祉リーダー研修会

第1回

「食事サービス事業における衛生管理」

講師 福井市保健所 生活衛生室 新庄 公美子氏

「高齢者向けの献立の工夫」

講師 公益社団法人 福井県栄養士会 管理栄養士 永田 めぐみ氏

開催日：令和元年5月24日（金）
 参加者：77名

食事サービス事業の安心・安全な実施のため、地区社協の食事サービス事業に関わる方を対象に、研修会を開催しました。

はじめに、食中毒を防ぐためには、原因となるウイルスや菌を「つけない・増やさない・やっつける・持ち込まない」がポイントだと学びました。ウイルスや細菌が食べ物に



付着し増えてしまうと、減らすのはとても難しいので、まず防ぐことが大切です。食中毒予防のために、手洗いや器具の消毒をしっかりと行いましょう。

次にお弁当の献立を考える際の工夫として、「まごわやさしいよ」という合言葉を学びました。これらの食材をすべて含んでいる食事は、彩りもよく、栄養バランスもよいそうです。

この合言葉から「不足している栄養素はないかな？」と考えることができます。今回の研修で学んだことを、各地区で食事サービスに関わる方にも伝え、安全な食事サービスが実施できるような心がけていただきたいと思います。

「まごわやさしいよ」
 ●ま→豆類 ●ご→ごま ●わ→わかめ(海藻類) ●や→野菜 ●さ→ささみ ●し→しいたけ(きのこ類) ●い→いも類 ●よ→ヨーグルト(乳製品)

参加者の声

- あらためて衛生管理が必要なることを勉強できたので、今後に活かしたい。
- 食中毒を単に怖いと思っているのではなく、どうしたら防げるかを学び、気を付けたい。
- 「まごわやさしいよ」を考えて料理を作りたい。

第2回

「デイホーム活動への関わり方のヒント」
 ～共に笑って、楽しんでみんな元気に～

講師 仁愛大学 非常勤講師 山村 恵子氏

開催日：令和元年6月28日（金）、7月7日（日）
 参加者：合計 145名

自治会型デイホームで活用できるレクリエーションメニューを体験しながら学び、デイホームの利用者により楽しんでもらえるよう、専任職員や協力ボランティアの方を対象に研修会を開催しました。

講義のあと、手遊びや指遊びなど、すぐに実践できるレクリエーション



参加者の声

- 笑いがあり、とても楽しかった。
- デイホームでつかえるいろいろなゲーム、子どもたちと一緒に楽しみたい。
- 自分も楽しめて、とても役に立った。

山村先生の講義のポイント！

- ★話のタネ(材)はどこにでもある
新聞や雑誌など、話のタネになることはいろんなところにある。常日頃からアンテナを高くして情報収集を!
- ★体は使わなければ衰え、使えば機能は高まる
日頃から活動的な生活を送り、運動を楽しむことで、元気なからだ、元気なあたま(脳)を維持していつまでも若々しく!
- ★やりたい!と思った時がはじめどき
新しいことを始めるのに「遅すぎる」ということはない。いくつになってもチャレンジすることが大切。

を参加者も一緒にを行いました。また、デイホームで使える「歌詞カード」などのお土産もたくさんいただきました。先生の面白いお話とパワーに引き込まれ、会場は終始笑い声が絶えず、あっという間の研修会でした。

令和元年度 福井市民福祉大会のご案内

開催日：9月27日（金）
 会場：福井市民福祉会館 小ホール（フェニックス・プラザ2階）
 内容：13時30分 大会式典(社会福祉功労者表彰等) 14時30分～16時 講演(見守りについて)

テーマ 「笑顔で暮らせるまちづくり ～おせっかいをしてみませんか?～」

講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏



講演はどなたでも聴講できます。

「福祉委員見守り活動アンケート」ご協力をお願い

福祉委員の皆様には、各地区社協を通じてアンケートを配布しています。市社協のホームページにもアンケートの回答用紙を掲載しておりますので、そちらからダウンロードして回答いただくことも可能です。よろしくお願ひいたします。

URL http://www.fukuic-shakyo.jp/archives/news/from-shakyo/post_46.html

回答期限 10月31日

国見地区

みんなが健康で元気に！



啓蒙地区

地域密着の活動を目指して

国見地区は越前海岸沿いの福井市西部に位置する人口約千人の地区です。5町内あり、全ての町内で毎週1回のシルバー喫茶(自治会型デイホーム)を運営しています。第1号店の小丹生町「つごい」が開店して18年経ちました。現在スタッフ約70名、年間開催日数は200日以上になります。国見地区は市内中心部に出かけるにも遠く、一人暮らし世帯や高齢者世帯等が多いので唯一の語らいの場であり楽しみであるようです。「気軽に立ち寄れる喫茶店」と自治会の協力を得てスタートし、5年後には全町内に開店することができました。また、男性の参加が少ないので、利用を促進するためにそば打ち道場を開設しました。昨年までは2町内で開設していましたが、今年1町内増えます。年に2回程デイホーム利用者の方に腕前披露も兼ねて、会食をしています。



食事サービスは、調理ボランティア19名が年4回(1回約110食)の配食を実施しています。昨年からは、ご飯を入れず、副菜の充実を図りました。管理栄養士さんが季節感と栄養バランスの整った食事メニューを考えています。のし紙に献立と『10食品群チェックシート』を印刷し、利用者の方にも日頃から健康に心がけていただくよう発信しています。配食サービス時には、福祉委員が安否確認を兼ね、その他変わった様子がないか尋ねます。定例役員会を毎月1回行い、民生委員デイホーム専任職員を含めた役員、福祉委員が問題提起や情報の交換を行い迅速な対応ができるよう努力しています。



国見地区社会福祉協議会



平成2年に発足した啓蒙地区社協は、新保、開発、丸山、長本、西開発の地域内37自治会を基盤とします。地区内ではマンションや商工業所などが多くなり、児童見守りや集合住宅の高齢者見守りなどで難しい対応も見受けられます。こうした状況のもと、地区社協の活動では、各種団体と連携できるものは共催で進めていくこととしています。

その事例として、地区自治連合会の防災訓練に、当地区社協が共催して実施した「緊急避難と救護蘇生の訓練」があります。何度受講しても戸惑うものですが、今回はじめて蘇生訓練を受けた方が、自宅で家族の蘇生が必要な状況に迫られ、無事、救急車に搬送できたとのこと。この話を聞くと、身近に起こる出来事なのだと感じます。

また、「ふれあい福祉まつり」は地区文化祭と併設して開催しています。が、昨年は、「健康測定コーナー」を設けたところ、これが大好評で参加者が列をなしました。

このほか、「啓蒙いきいきクラブ」では、月々のデイホーム以外に年2回の野外合同デイホームを開催して

います。合同デイホームや敬老会では、社協役員が余興や寸劇を行って、それが皆さんから期待されるまでに定着化しました。こんなイベントの1コマですが、地域の福祉活動にどこかで役立つてくれなにかと、ひそかな期待をしている次第です。

啓蒙地区社会福祉協議会



◆ 次回は越前地区と酒生地区を紹介します